

# 第 1 章 桑名市新水道ビジョンの策定趣旨

- 1.1 策定趣旨
- 1.2 位置付け
- 1.3 桑名市の上水道事業概要



諸戸水道遺構 明治37年（1904）竣工  
（貯水池：容量 925m<sup>3</sup>、湧水量約 900m<sup>3</sup>/日）

## 1.1 策定趣旨

本市は、平成16年12月6日に旧桑名市、旧多度町、旧長島町の1市2町が合併し現在に至っています。

上水道事業としては、この合併後の平成18年3月に「桑名市上水道事業基本計画」（以下、前回計画）を策定し、旧市町3地区の上水道事業が将来目指すべき方向性を示しました。

また、その後の平成21年3月には、3地区3上水道事業の統合のための変更届出がなされ、現在の桑名市上水道事業となったものです。

前回計画策定から平成25年度現在まで、すでに8年間が経過しその間、水質基準の改正等の法改正のほか、厚生労働省からの水道ビジョンの改定、耐震化計画策定や水安全計画<sup>\*</sup>の策定等の推奨が行われました。更に東日本大震災による被災など、近年の上水道事業を取り巻く社会・経済情勢の変化には著しいものがあり、今後、本市上水道事業を適正に運営していくため水道の維持管理や施設の老朽化対策・災害対策など、取り組むべき課題が山積しています。

桑名市新水道ビジョンは、桑名市水道の一元化を目指すとともに、このような社会的背景をもとに平成17年度に策定した前回計画を見直し、新たな桑名市上水道事業の将来目標の設定と、これを達成するために必要な方向性及び具体的施策を示すことを目的とするものです。

(<sup>\*</sup>P62 水道用語)



図-1.1 新市への移行

1.2 位置付け

この「桑名市新水道ビジョン」は、21世紀の中頃を見通しつつ、桑名市上水道事業における長期的な事業運営の指針を示したものです。

桑名市新水道ビジョンの策定に当たっては、国、県及び市の計画を上位計画とし、これらとの整合を図りつつ策定を行うものです。国における計画としての上水道事業のあり方を示す「新水道ビジョン」に従い、桑名市新水道ビジョンを策定するものです。

なお、国の新水道ビジョンは平成25年3月に新たに策定され、公表されたものです。また、本市では平成27年度から10年間の新しい総合計画の策定を予定しています。

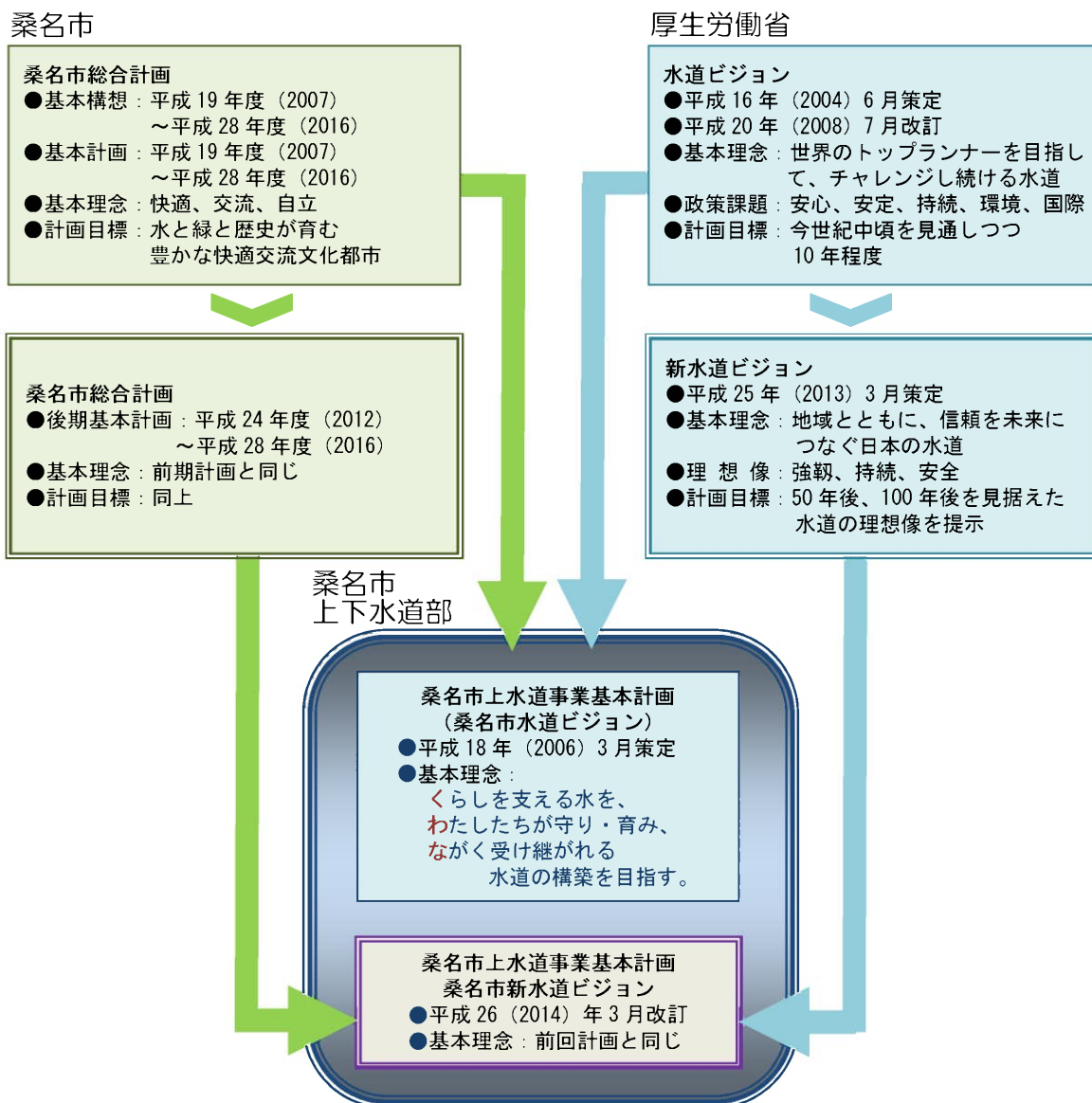


図-1.2 水道計画の体系

### 1.3 桑名市の上水道事業概要

#### 1.3.1 桑名市の概要

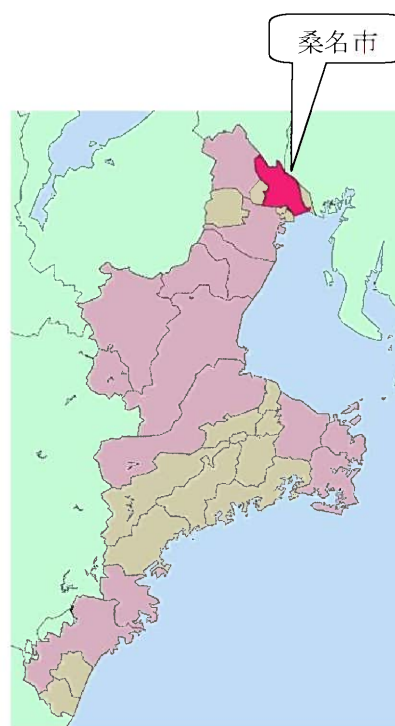
本市は、三重県の北部に位置し、揖斐川、長良川、木曾川の三大河川による肥沃なデルタ地帯と北部の養老山地から市域が形成されています。

本市は、古くからの交通の要衝であり、東西文化の交接する歴史と文化の町として発展してきましたが、近年は、大都市名古屋から 25km 圏という交通アクセスの利便性から、西部丘陵地の住宅開発が展開され、名古屋圏の優れた住宅都市として目覚ましい発展を遂げています。

産業面においては、大都市近郊という地理的優位性を活かして、農林水産業の多角化・高付加価値化を図るとともに伝統ある地場産業の活性化と新産業の創出・企業誘致を進めています。

また、市街地を中心とした商業の活性化と恵まれた自然環境と歴史的文化的資源を活かした観光の振興を推進しており、整備された交通環境の下、新たな産業発展の可能性も高く、地域経済の活性化が期待されています。

平成 18 年 12 月に策定された「桑名市総合計画」では、本市の将来ビジョンを「水と緑と歴史が育む豊かな快適交流文化都市～住み良さ日本一を目指して～」と定め、目標実現に向けて、市民が安心して暮らせる町、文化や産業を育み交流の盛んな町、自立した市民と行政の協働の町を目指しています。



桑名市の現況（平成 25 年 3 月末日）	
市域面積	136.61 km <sup>2</sup>
行政区域内人口	142,347 人

図-1.3 桑名市位置図

### 多度地区（旧多度町）

多度地区は桑名市北部に位置し、東に揖斐川、北には養老山地の南端である多度山を擁し、地区面積の半分以上を林野が占めている緑豊かな地域です。

また、多度山の麓には古くから全国的によく知られている多度大社があり、春の上げ馬神事、秋の流鏝馬が有名です。

地区の南側には、東名阪自動車道、国道1号線など交通の便の良さもあり機械・金属を主とする工業団地が形成されています。



多度大社の流鏝馬まつり



桑名駅前

### 桑名地区（旧桑名市）

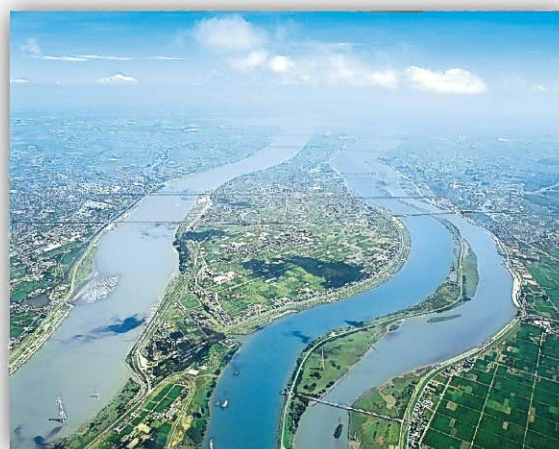
かつて桑名地区は東海道の宿場町として栄え、現在でも鉄道や道路が集中する交通の要衝となっています。

ここには行政機関や商業施設ばかりでなく、桑名城築城当時の石垣やかつての船着き場が公園として整備され、多くの観光客が訪れる観光スポットともなっています。

### 長島地区（旧長島町）

長島地区は、木曾三川である木曾川、長良川、揖斐川に囲まれた水環境の豊かな文化地区として知られ、平成7年には、全国水の郷百選にも選ばれています。

中でも水郷の森、水辺の学校は自然の宝庫として、またレジャー施設は憩いの場として多くの人々が訪れています。



水郷の長島

# 第1章 桑名市新水道ビジョンの策定趣旨

## 1.3.2 上水道事業の沿革

現在の桑名市上水道事業は、表-1.1 に示すとおり明治時代に創設された私設水道を引き継ぎ、地域の発展とともに水道統合を繰り返して拡張整備されてきました。

表-1.1 桑名市上水道事業の沿革

年 代	桑名地区	多度地区	長島地区
明治 37年	○私設諸戸水道の創設 給水人口 約17,000人 一日最大給水量 890 m <sup>3</sup> /日		
昭和 2年	○第1次拡張事業認可 目標年度 昭和4年度 給水人口 30,000人 一日最大給水量 4,200 m <sup>3</sup> /日		
13年	○西桑名町簡易水道を引き継ぎ給水開始		
26年	○第2次拡張事業認可 目標年度 昭和36年度 給水人口 42,000人 一日最大給水量 10,500 m <sup>3</sup> /日		
31年			○長島町簡易水道認可
32年			○水利権許可申請（木曾川 750 m <sup>3</sup> /日）西川地先
33年			○長島町簡易水道給水開始
34年			○小島簡易水道給水開始
35年			○伊曾島地区簡易水道給水開始
36年	○深谷簡易水道給水開始		
37年	○在良簡易水道給水開始 ○第3次拡張事業認可 目標年度 昭和40年度 給水人口 61,000人 一日最大給水量 21,350 m <sup>3</sup> /日 ○城南簡易水道統合		
38年		○上水道事業の創設 香取、多度橋、朧江、下野代、力尾、戸津簡易水道を統合 目標年度 昭和53年度 給水人口 10,000人 一日最大給水量 2,000 m <sup>3</sup> /日	
40年	○久米簡易水道給水開始		
41年	○七和簡易水道給水開始		○長島揚水機灌漑用水の水道用水転用 松ノ木
42年	○第4次拡張事業認可 目標年度 昭和52年度 給水人口 114,000人 一日最大給水量 47,500 m <sup>3</sup> /日 ○深谷、在良簡易水道を統合		○長島町上水道認可 目標年度 昭和46年度 給水人口 10,000人 一日最大給水量 2,000 m <sup>3</sup> /日
43年			○長島町上水道給水開始
44年	○第4次拡張事業第1次変更認可 目標年度 昭和52年度 給水人口 156,000人 一日最大給水量 65,000 m <sup>3</sup> /日		
49年	○久米、七和簡易水道を統合	○第1次拡張事業認可 目標年度 昭和58年度 給水人口 12,000人 一日最大給水量 3,600 m <sup>3</sup> /日	
50年			○第1次拡張事業認可 目標年度 昭和55年度 給水人口 15,000人 一日最大給水量 6,900 m <sup>3</sup> /日

# 第1章 桑名市新水道ビジョンの策定趣旨

## 表-1.1 桑名市上水道事業の沿革

年代	桑名地区	多度地区	長島地区
52年			○北勢水道受水開始 契約水量 3,100 m <sup>3</sup> /日
53年	○第4次拡張事業第2次変更認可 目標年度 昭和62年度 給水人口 132,000人 一日最大給水量 76,000 m <sup>3</sup> /日 北勢水道 20,000 m <sup>3</sup> /日		○北勢水道 契約水量 3,250 m <sup>3</sup> /日 ○小島簡易水道統合
54年			○北勢水道 契約水量 4,300 m <sup>3</sup> /日
58年		○第2次拡張事業認可 目標年度 昭和65年度 給水人口 16,000人 一日最大給水量 12,400 m <sup>3</sup> /日	
平成元年	○第4次拡張事業第3次変更認可 目標年度 平成10年度 給水人口 134,000人 一日最大給水量 78,500 m <sup>3</sup> /日 北勢水道 20,000 m <sup>3</sup> /日		
4年			○桑名市から北勢水道受水量 1,000 m <sup>3</sup> /日 を借受（平成7年3月19日まで）
6年			○長良川水利権 0.034 m <sup>3</sup> /秒 ○北勢水道千倉分水 1,200 m <sup>3</sup> /日新設
7年			○第2次拡張事業認可 目標年度 平成15年度 給水人口 16,500人 一日最大給水量 6,900 m <sup>3</sup> /日 北勢水道 4,300 m <sup>3</sup> /日 自己水（長良川表流水） 2,900 m <sup>3</sup> /日
10年		○認可変更 5号井、8号井の廃止、6号井の増量及び 8号井の更新 目標年度 平成19年度 給水人口 10,350人 一日最大給水量 12,400 m <sup>3</sup> /日	
11年			○第3次拡張事業認可 目標年度 平成25年度 給水人口 16,000人 一日最大給水量 10,900 m <sup>3</sup> /日 北勢水道 8,300 m <sup>3</sup> /日 自己水（長良川表流水） 2,900 m <sup>3</sup> /日
13年	○第5次拡張事業認可 目標年度 平成25年度 給水人口 134,000人 一日最大給水量 81,000 m <sup>3</sup> /日 北中勢水道 22,500 m <sup>3</sup> /日		
16年		古野・美鹿簡易水道を統合	
17年	12月6日 桑名市、多度町、長島町の1市2町の合併に伴い事業を統合 桑名市上水道事業基本計画を策定		
21年	桑名市上水道事業変更届出 平成21年3月30日に受理 目標年度 平成30年度 給水人口 143,256人 一日最大給水量 78,255 m <sup>3</sup> /日（うち県水受水 25,400 m <sup>3</sup> /日）		

1.3.3 上水道事業の組織体制

本市では、平成25年4月に上下水道事業の組織改編を行っています。

上水道と下水道では管理技術が異なるため別系統とするのが一般的ですが、業務の効率化と人員の削減をめざして上下水道の協働体制に移行、図-1.4に示す上下水道部組織図のとおり改善しました。

企画総務課が経営全般と計画策定に関する仕事を、営業課が料金に関する仕事を、また工務課が管路、施設課が建物・設備の管理を担当します。長島上下水道事務所が長島地区の上下水道全般に関する仕事を担当します。

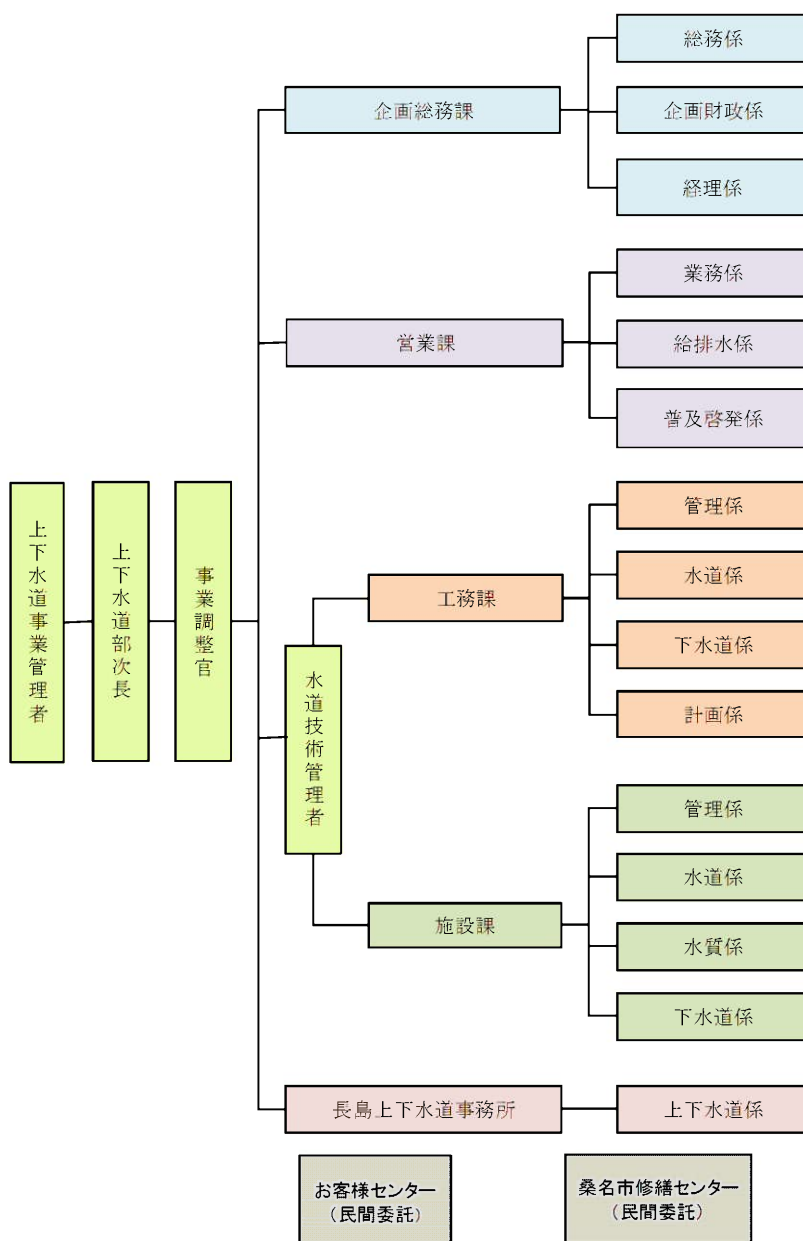


図-1.4 上下水道部の組織体制  
(平成25年4月改編)